



亀岡市立詳徳小学校 学校だより
令和4年度 卒業号

令和5年3月23日発行 0771-24-5669

卒業を祝して



各地から桜の開花情報が届く中、本校の桜も薄ピンクの花びらが少しずつ開き始めました。新しい春の訪れとともに、小学校6ヶ年の教育過程の修了を向かえるときがやってきました。

ご卒業おめでとうございます。

本日、卒業証書授与式を挙行し、46名の卒業生が詳徳小学校を巣立ちました。

詳徳小のリーダーとして、委員会活動をはじめ、なかよし班活動等では下級生を優しく導き、一生懸命にこの学校を支えてくれた6年生。その存在はとても大きく、温かく、優しく、みんなが安心して毎日を過ごすことができました。

卒業式で6年生が歌った「旅立ちの日に」は、秩父市立影森中学校の校長先生と音楽科教諭がつくった歌で、今では全国的に卒業式で歌われる歌となりました。校長先生が赴任された当時、落ち着かなかった学校をよくするため「歌声の響く学校」を目指し、音楽科教諭と共に粘り強く努力を続けられた結果、歌う楽しさによって学校は明るくなったそうです。そこで、3年間ともに学校を支えてくれた3年生に教職員から感謝の気落ちを伝えようとサプライズで贈られたのがこの歌でした。

旅立ちの日に

白い光の中に
山なみは萌えて
遙かな空の果てまでも
君は飛び立つ
限りなく青い空に
心ふるわせ
自由を駆ける鳥よ
ふり返ることもせず
勇気を翼にこめて
希望の風にのり
この広い大空に
夢を託して

懐かしい友の声
ふとよみがえる
意味もない諍いに
泣いたあのとき
心通ったうれしさに
抱き合った日よ
みんな過ぎたけれど
思い出強く抱いて

勇気を翼にこめて
希望の風にのり
この広い大空に
夢を託して

今 別れするとき
飛び立とう
未来信じて
弾む 若い力 信じて
この広い この広い
大空に

「子どもたちにありがたいの気持ちを伝えたい。」その思いは本校の教職員も同じです。何事にも一生懸命頑張る姿を見せてくれた6年生、常に最高学年にふさわしい行動をとってくれた6年生は、在校生の憧れであり、自分たちが目指すべき姿でありました。その誠実さと責任感の強さは、本校の伝統として、在校生に大切に受け継いでほしいと願っています。46名の卒業生のみなさんに、心から「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたいと思います。

保護者の皆様には、本校の教育推進に広くそして厚くご理解・ご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。お子様の学校生活は、新しく中学校へ進みます。学習も生活も今までとは異なり難しさもあると思いますが、目標に向かって努力することで得られる喜びや、何かをやり遂げたときの達成感、これまで以上に大きく感じることを思います。ぜひ、お子様の頑張りを温かく見つめ、励ましてあげてください。我々教職員一同は、本校の卒業生が未来への夢と希望を胸に、自分の力を信じて大きくはばたいてくれることを、心から願っています。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 真理子